

磁石につくものと つかないもの

実験概要

携帯電話カバーから取り出した磁石をいろいろなものに近づけ、磁石につくかつかないものを調べる。

実験の目的

磁石につくものとつかないものを区別し、その性質を理解する。

実験材料

- 携帯電話カバーの磁石
- 鉄くぎ
- 輪ゴム
- クリップ
- マッチ
- アルミホイル
- アルミ缶
- スチール缶
- 木の棒
- セロハンテープ
- ペットボトルのキャップ



実験手順

① 磁石につくものとつかない物



木の棒の先に磁石を付けると実験しやすい。

②つくもの・つかない物のまとめ



磁石にくっつくもの

- 鉄釘 ●クリップ
- スチール缶



磁石につかないもの

- 輪ゴム ●マッチ ●アルミホイル
- アルミ缶 ●木の棒
- セロハンテープ
- ペットボトルのキャップ

実験結果と実験からわかってほしいこと

- 磁石につくものは鉄でできたものである。
- 金属以外のものは、磁石につかない。
- 金属の中にも、磁石につくものとつかないものがある。

発展

- ★ 磁石につくものの性質を利用して、ゴミの分別回収などができる。
- ★ 身の回りにあるものでどんなものが磁石につくか、いろいろ試してみよう。